

一般財団法人千葉県観光公社

平成22年度事業報告

I 事業概要

当公社は、県内の観光・余暇利用振興事業の推進を図り、もって公共の福祉の向上に寄与することを目的として、現在、千葉県から指定管理者として指定を受け、国民宿舎サンライズ九十九里を㈱休暇村サービスと共同で、千葉ポートパークを林造園土木㈱と共同で、内浦山県民の森・館山野鳥の森を管理運営している。また、(財)千葉県職員互助会から新港運動公園の管理を受託している。

一昨年のリーマンショック以降の不況、デフレ基調の厳しい経済情勢のもと、増収増益を目指し、役職員一丸となって運営に取り組んできた。

しかしながら、平成22年度は3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の影響で、公社の基幹事業であるサンライズ九十九里が大幅な減収となったことにより経営状況は非常に厳しくなり、公社全体で約77,000千円の損失となった。

II 事業の実施状況

1 観光レクリエーション施設の管理運営事業（宿泊施設の利用状況、事業収入）

(サンライズ九十九里、千葉ポートパーク等)

平成22年度の観光レクリエーション施設における利用者数は、前年度に比べ10,623人少ない284,824人であった。

事業収入は、東日本大震災後の収入減により、前年度に比べ30,772千円少ない、1,145,481千円となった。

○サンライズ九十九里

サンライズ九十九里は、季節ごとの宿泊プランや入込み状況に応じた企画商品を開発し、顧客へのDMの発送はもとより、駅頭や各種イベントでのチラシ配布、企業・団体・旅行代理店・大学等への訪問営業など役職員一丸となったPR活動、新聞・雑誌等での広告やパブリシティによるPRに努め、その結果2月の時点では平成13年度以来9年ぶりに宿泊人数8万人を達成できる見込みとなっていた。

しかしながら、東日本大震災がもたらした未曾有の災害の影響による休館及び大幅な予約キャンセルで、最終宿泊人数は74,691人となった。また、震災の影響によるプール利用者の減少も利用者数が減った要因となった。

その結果、事業収入は前年度に比べ31,274千円減の1,121,261千円となった。

○千葉ポートパーク等

千葉ポートパーク、新港運動公園の利用人員は減員となったが、パテオの利用人員の加算により前年度に比べ 1,597 人多い 93,421 人となった。

○ 観光レクリエーション施設の利用状況 (単位:人)

区 分	22 年度	21 年度	比 較
宿泊者 (サンライズ)	74,691	76,168	▲1,477
休憩会議 (サンライズ)	116,712	127,455	▲10,743
利用人員 (千葉ポートパーク等)	93,421	91,824	1,597
利用者計	284,824	295,447	▲10,623

○ 観光レクリエーション施設の事業収入 (単位:千円)

区 分	22 年度	21 年度	比 較
単独収入	1,128,314	1,159,086	▲ 30,772
サンライズ	1,121,261	1,152,535	▲ 31,274
ポートパーク等	7,053	6,551	502
受託料収入	17,167	17,167	0
ポートパーク等	17,167	17,167	0
事業収入計	1,145,481	1,176,253	▲ 30,772
サンライズ	1,121,261	1,152,535	▲ 31,274
ポートパーク等	24,220	23,718	502

2 県民の森施設の管理運営事業 (入園者・施設の利用状況、事業収入)

(内浦山県民の森、館山野鳥の森)

平成 22 年度の県民の森 2 施設における利用者数は、前年度に比べ 21,100 人少ない 241,892 人であった。

事業収入は、前年度に比べ 19,362 千円増加し、129,398 千円となった。前年度は、4 月から 11 月まで千葉県の委託管理のもとに管理運営を行っていたことにより、歳入金として納めていた売上げが、単独収入となり増収となった。

○内浦山県民の森

平成 22 年度の内浦山県民の森の入園者数は、前年度に比べ 18,357 人少ない 163,385 人となった。

事業収入は、前年度に比べ 10,931 千円多い 103,717 千円となった。21 年度は歳入金として納入していた宿泊料等が、平成 22 年度は通年公社の単独収入となったことが増収の主な要因となった。

○館山野鳥の森

平成 22 年度の館山野鳥の森の入園者数は、前年度に比べ 2,743 人少ない 78,507 人となった。

事業収入は、前年度に比べ 8,395 千円多い 25,681 千円となった。受託料収入と商品売上げの増加により増収となった。

○ 県民の森施設の利用状況 (単位：人)

区 分	22 年度	21 年度	比 較
入園者	241,892	262,992	▲21,100
内浦山	163,385	181,742	▲18,357
館山野鳥	78,507	81,250	▲2,743

施設利用者	34,007	46,585	▲12,578
内浦山	34,007	46,585	▲12,578

※施設利用者は入園者の内数

○ 県民の森施設の事業収入 (単位：千円)

区 分	22 年度	21 年度	比 較
単独収入	63,683	30,568	33,115
内浦山	59,145	28,334	30,811
館山野鳥	4,538	2,234	2,304
受託料収入	65,715	79,504	▲ 13,789
内浦山	44,572	64,452	▲ 19,880
館山野鳥	21,143	15,052	6,091
事業収入計	129,398	110,072	19,326
内浦山	103,717	92,786	10,931
館山野鳥	25,681	17,286	8,395

以上が、平成 22 年度の主な事業の実施状況であり、その結果、公社全体での当期純損失は約 77,000 千円であった。

○ 決算状況（概要）

（単位：円）

経常損益の部	金額
営業収益	1,297,857,994
営業外収益	5,314,283
退職給付引当金取崩益	44,865,890
合計	1,348,038,167

営業費用	1,419,097,015
営業外費用	46,440
合計	1,419,143,455

経常損失	71,105,288
------	------------

特別損益の部	金額
固定資産売却益	667
投資有価証券売却損	5,940,000
固定資産除却損	74,177

当期純損失	77,118,798
-------	------------